

I 急病のときの対応

7. 異物の誤嚥ごえん (吸い込み)

家庭での処置

苦しがついたり、呼吸困難がある場合

異物の除去

背部叩打法 (背中をたたく方法)

うつ伏せにし頭を下にして膝の上に乗せ、背中を叩く。



【乳児の場合】あごを片手で持って頭を下にして背中を叩く。



ハイムリッチ法 [年長児の場合]

後ろから抱いてみぞおちのあたりを強く圧迫する。



その後の対応



その時点で病院受診

原則として異物の誤嚥の場合は救急で受診する。特にピーナッツは化学性肺炎やアナフィラキシーショックを起こすことがあるので要注意。

* アナフィラキシーショックとは、アレルギー反応が原因で起こる身体的ショック状態のこと。



緊急に病院受診、救急車要請

呼吸困難が続いている場合。

家庭で看る時のポイント

急に苦しみ出したり、声が出なくなったり、むせたりする症状があれば要注意です。

幼児にピーナッツを与えるのは危険で、気管に入りやすく窒息の原因となります。気管に入ると後に気管支肺炎を起こす事もあります。

